



公立大学法人富山県立大学

News Release

富山県立大学

○本事業に関するお問い合わせ：

地域協働支援室

COOコーディネーター 塚 勇人

電話：0766-56-7500（内線）632

平成30年11月15日

みなみかんだに 南砺市南蟹谷地区「ぎんなんフェスタ」への本学学生の参加について

みなみかんだに
本学学生が南砺市南蟹谷地区の地域課題に取り組んでいます。この度、下記の活動を行いますので、ご案内します。

- 1 日 時 平成30年11月18日（日） 8:00～16:00
- 2 場 所 J A福光南蟹谷地区センター 富山県南砺市小又311
- 3 担当学生 富山県立大学 工学部1年 教養ゼミ受講生 14名
- 4 指導教員 教養教育（物理学） 福原 忠 教授
- 5 協働相手 南蟹谷地区（自治振興会長：西村信二）、福光行政センター、南砺市地方創生推進課（担当：河合氏）
- 6 当日連絡先 090-8092-9979（自治振興会長 西村氏携帯）
- 7 内 容 南砺市南蟹谷地区では、高齢化・人口減少に伴う①イノシシ電気柵管理に関する問題（設置・撤収や除草作業が困難）②地域特産品ぎんなん収穫に関する問題（拾い手不足／拾う作業が困難）が地域の課題となっています。本学の福原ゼミは、一昨年度より南蟹谷地区での活動に参加しており、昨年度は、南砺市と本学にて締結された連携協定の下、地域課題解決に取り組みました。※1。
3年度目となる今年度も、ゼミ生を一新し継続しています。今回は当地区の恒例行事「ぎんなんフェスタ」に参加します。学生は、地元の方々と共同開発したぎんなんレシピ試食コーナーも担当します。
※ぎんなんフェスタ公式HP（県立大学にて制作）：<http://ginnan-festa.sakura.ne.jp/>
- 8 スケジュール（詳細は別添チラシをご参照ください ※2）
8:30 めんなんフェスタ開始
9:00～ 公民館祭
10:00～ 県立大めんなんレシピ試食コーナー
15:00 めんなんフェスタ終了
- 9 今年度の取組
 - ・ 5月31日：現地訪問（下見及びヒアリング）
 - ・ 7月15日：イノシシ電気柵設置手伝い
 - ・ 10月21日：めんなん収穫作業手伝い

※1 昨年度の実績（参考）

教養ゼミによる南砺市との包括連携協定事業の推進

教養教育

福原 忠 教授 教養ゼミ × 南砺市、南蟹谷自治振興会

福原ゼミでは南蟹谷地区（南砺市）の地域課題（①獣害対策のための電気柵設置と維持（除草）の労力軽減、②地域住民の高齢化による特産品のぎんなん収穫の人出不足）の解決を、南砺市との包括連携協定事業の一環として取り組んだ。①については、実際の畦畔にカバー・プラント（イワダレソウ類、ノシバ等）を植え、除草の労力軽減の実証実験を行った。またゼミ生による電気柵設置体験も行った。②についてはぎんなんを拾う補助具として、梅農家が使っているネットを実際に用いて、収穫（ぎんなん拾い）の手間が軽減するか実験を行うとともに、ぎんなん拾いにはゼミ生も参加して収穫を手伝った。また、この活動をする中で地元から要請があった「新しいぎんなんレシピの開発」にも取り組み、地域のイベント（ぎんなんフェスタ 2017）へ参加、ゼミ生が考案したぎんなん料理の試食会を行った。また、これらの活動を SNS や web ページの開設を通じて、積極的に発信を行った。

これらの活動に際して、ゼミ生を4つの部会（企画、広報、研究A(①)、研究B(②)）に分けた。それぞれの部会で、学生は熱心に課題解決に取り組んでいた。特に企画部には、地元との連絡調整、各イベントへの参加準備など、平生、授業やサークル活動をかかえる1年生に対してかなり過酷な要求をしたと感じたが、非常に責任感をもってやり遂げてくれた。

成果として、イワダレソウ類は育成が早いので、カバープラントとして推奨されているが、実際に植えてみると、カタバミなどの雑草コロニーが容易に形成するなど、カバープラントには不適である事がわかった。一方、現地調査によって過去ノシバを植付けた畦畔は現在も防草効果が高く、この地域のカバープラントとして適していることがわかった。

これらの活動を通じ、教育を通じて地域と大学が連携することが、高齢化が進む中山間地の地域課題を解決する有効手段になると考えた。今後も実証活動を続けるつもりである。



ぎんなんフェア2018

11月18日

時間 午前8時30分～午後3時
場所 JA福光南蟹谷地区センター

ふるまいもち

午後1時30分～

南蟹谷産の「新大正もち」を使用し、ご来場の方に無料でお配りします。

もちつきの日

体験もできま〜!

※100名程度まで



富山県立大学
試食コーナー

午前10時～

南蟹谷特産の「銀杏」販売。「銀杏」を焼いて食べてみてください!

特産銀杏販売・皮剥き機実演コーナー

午前8時30分～

北陸職業能力開発大学校

抽選コーナー

午前9時～

農産物コーナー

午前8時30分～

朝どれ「新鮮野菜」、「くだもの」など

公民館祭

午前9時～

グループ活動報告、作品展。

特産加工品コーナー

午前8時30分～

特産の銀杏、新大正もちなどを使った「銀杏おこわ」、「ぎんなんもち」、「おはぎ(ぶもせ入り)」や「隠し漬」など。

1,000円以下のお買い上げの方に
お礼にお土産を
もらえる特産品を
プレゼント!
(先着順)



お問い合わせ TEL(0763)58-1011 FAX(0763)58-1012

主催/ぎんなんフェア実行委員会
協賛/土山若菜産直組合、小又ゆうゆう会、
健康茶グループ、銀杏加工組合、至めく森の郷